

## プレカンファレンス企画 ワークショップ2 ジェダイの哲学と医学教育

7月29日(木) 17:30~19:30 3チャンネル

## PRCWS-02(要旨) ジェダイの哲学と医学教育

司会：錦織 宏 (名古屋大学)

1977年にエピソード4が公開されてから半世紀近くにわたって多くのファンを魅了してきた映画Star Warsは、2019年12月に公開されたエピソード9で完結した。ジェダイの騎士という「特権を伴う資格」を描くStar Warsは、同じく特権を持つ資格である医師の養成に関して多くの示唆を与えてくれる。またオビワンとアナキン、ヨーダとルークというような指導者—学習者関係を描写した本作品は、フランス文学者である内田樹の述べる通り、師匠と弟子の物語という側面も持っている。今やジェダイの哲学と呼称されるようにヨーダの教えからは医学教育の実践者が学ぶところは多く、特に卓越した才能に恵まれたアナキンのダークサイドに落ちていく過程からは、教育の限界、人間性、そして職業人としての医師が抱える葛藤などについても考えさせられる。ワークライフバランスが重視される今日、ジェダイに課された掟と同じような不自由さを医師も引き受けるべきなのだろうか？

本ワークショップでは、「評価が先か教育が先か? : 不安と恐怖に支配される教育者とジェダイの教え」「なぜ医学生・研修医はアンプロフェッショナルに振る舞うのか? : アナキンのダークサイドに落ちたプロセス」「医療安全が正義化した時代にどのように失敗から学ぶのか? : ヨーダからルークへの伝承」「医療と教育におけるマインドフルネス: ジェダイの哲学にも共通する禅の精神」といったテーマに分かれて、Star Warsから医学教育者が学べることについて時間の限り徹底的に語りつくす(が間違いなく時間が足りなくなるであろう)。全体討論ではメタファーを用いて医学教育を論じることについても取り上げたい(多分無理であろうが)。事前にスピンオフ作品を除く映画Star Warsの全作品(エピソード1~9)を視聴することをワークショップ参加の前提とする。コスプレによる参加は強く推奨する。

ファシリテーター：南郷 栄秀 (社会福祉法人聖母会 聖母病院)  
Eishu Nango (Seibo Hospital)

近藤 猛 (名古屋大学)  
Takeshi Kondo (Nagoya University)

肥田 侯矢 (京都大学)  
Koya Hida (Kyoto University)

岡崎 三枝子 (秋田大学)  
Mieko Okazaki (Akita University)

孫 大輔 (鳥取大学)  
Daisuke Son (Tottori University)

大橋 綾子 (九州大学病院)  
Ayako Ohashi (Kyushu University Hospital)

高見 秀樹 (名古屋大学)  
Hideki Takami (Nagoya University)